

19 作文 段落を意識して書く

組	
番号	
氏名	

1 次の題で、1と2の条件に従って作文を書きなさい。

自然を守る

- 1 二段落構成とし、第一段落では、自然を守る活動について、体験や見聞を具体的に書き、第二段落では、そのことに対する自分の考えを書くこと。
- 2 二百字以上、二百五十字以内で書くこと。

● 指示された段落数にしたがって書く

例

干潟が埋め立てられ、水門が勢いよく落下するのをテレビで見ることがある。埋め立てられた干潟はひび割れ、干潟の生物は死んでしまった。テレビは、この干潟をもとに戻すよう活動する人々を映した。自然を守ることがいかに大切か訴えていた。

自然は一度破壊されると、なかなかもとは戻らない。そのことをよく考え、人工的なものをつくる場合は、もとの自然をできるだけ残して開発する必要があると思った。

解説

指示された段落数にしたがって文章を書く場合、すぐに原稿用紙に書かずに、以下のようないんポイントに注意して簡単なメモをとってから書くことが大切である。

- 1 指示に合った構成メモを作る。

(例) 題名 自然を守る

第一段落 体験したことなど(具体例)

第二段落 自分の考え(意見)

- 2 与えられた題名に対し、どのような体験・見聞したこと(具体例)が思い浮かぶか、いくつか書き出す。

- 3 その具体例の中から、いちばん書きやすいものの一つを選ぶ。

- 4 その具体例からどのような自分の考えを持ったか簡単にメモする。

- 5 段落と段落をどうつなぐか、つなぎの言葉を考える。

(例) 「いいことから……」

- 6 最後のまとめの文章を考えてから、文章を書き出す。